

平成28年度 一般会計予算額

58億9000万円

平成28年度当初予算が、第1回議会定例会で3月14日に可決され成立しました。

一般会計の予算総額は、58億9000万円で、27年度と比較して3億9850万円（7.3%）の増となりました。今年度も、更に踏み込んだ歳入・歳出の徹底した見直しや新たな歳入確保対策の検討を行うとともに、①産業の振興 ②福祉の充実 ③教育の充実 ④生活環境の整備 ⑤財政基盤の強化など、施政方針を念頭におき、「花ひらく 夢ひらく」まちづくりの実現に向けた各種施策を推進します。

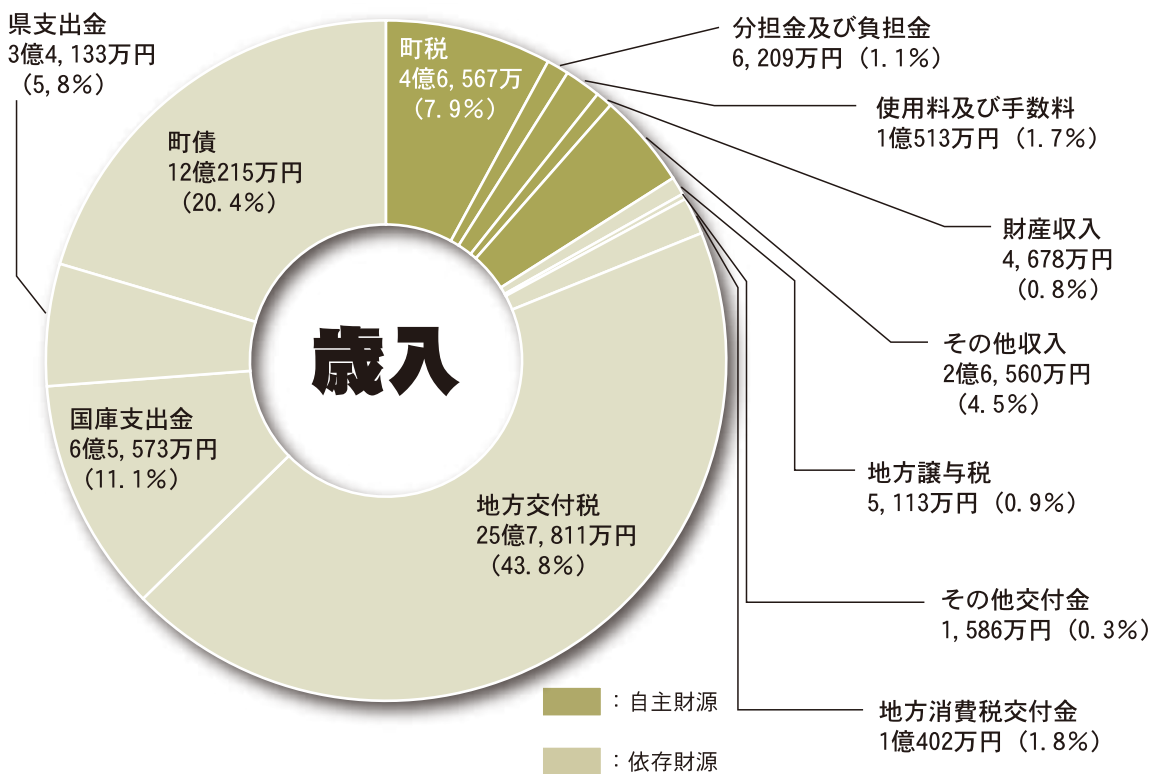
歳入

自主財源の確保と受益者負担の適正化等による財源の確保

自主財源は、歳入予算の16.0%、対前年度比1828万1千円、2.0%の増となっています。これは、主に繰入金（主に財政調整基金繰入金）9735万5千円の増額等を計上したことにより増えます。

依存財源は、歳入予算の84.0%、対前年度比3億8021万9千円、8.3%の増となっています。これは、

主に国庫支出金（年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金・社会資本整備総合交付金基幹事業費補助金等の増等）1億6469万2千円、町債（知名認定こども園舎新築事業費債・社会資本整備総合交付金事業費債等の増等）1億1684万9千円等の増額を計上したことによります。



用語説明

【歳入】

- 分担金及び負担金** ・受益者が負担するお金（保育料など）
- 繰入金** ・基金や特別会計からの収入金
- 地方譲与税** ・自動車重量税等の一部が、町の道路の長さや面積、空港騒音の状況に応じて国から交付されます。
- 地方交付税** ・国税の一部から、町の財政状況に応じて交付されるお金
- 町債** ・国や銀行などからの借入金

【歳出】

- 性質別分類** ・経済的性質を基準とした分類。このほか、総務費や議会費などを基準とした目的別分類がある。
- 扶助費** ・法に基づき高齢者や子供、障がい者などに給付されるお金。
- 県営事業負担金** ・県が行う事業により、その受益を限度として負担するお金。
- 公債費** ・借り入れた町債を返済する経費